

池田 豊

ことしのクリスマスは、皆さんご馳走をたくさん召し上がりましたか？年末、年始はいかがですか？美味しいものが沢山あれば、幸せだな～と思う方は、大勢いらっしゃると思います。しかし、聖書は、必ずしも贅沢なご馳走と暖かい、愛情溢れた家庭とは直接、比例関係にはない、つまり、家庭内の経済的豊かさと愛情の豊かさとは直接的には比例しないことを教えています。貧しい食事でも愛情たっぷりの家庭があるというのです。いいえ、貧しいからこそ、愛がとても心にしみる、そんな家庭があるというのです。私たちは、健康維持のために食べるものに気をつけます。化学物質てんこもりの飲み物より、薬草類が16種類、あるいは18種類入っているお茶があれば、そちらの方を選ぶという方も多いことでしょう。でも世界にはいろんな人々がおられます。

理研バイオソースセンターの辨野義己(べんのよしみ)室長は、ある一つの栄養を作り出す素になるものを取っていけば、他の栄養素が少なくても生活できる人がいるとおっしゃり、例として、パプアニューギニアの高地民族の人々のことを語っています。この方々は、一生に亘って、ほとんどイモ類しか食べないそうです。タンパク質の摂取が極端に少なくなるはずなのに、彼らの筋肉は発達しているというのです。

その秘密は腸内細菌にあるといいます。パプアニューギニアの人々の腸内細菌には、排泄物となるものからタンパク質を合成する特殊な力を持つものがあるのだそうです。人間が持つ腸内細菌は500種類以上あり、特殊な働きはこれだけにとどまらないのだそうです。野菜にはビタミンB12が少ないため、菜食主義者であれば不足するはずなのですが、パプアニューギニアの高地民族の方々の場合は、腸内細菌の働きで合成されるため、不足することはないのだそうです。そういえば、コアラはユーカリの葉、パンダは笹ばかり食べているようです。ニュージーランドの羊たちも毎日、毎日、草ばかりです。でも、腸内細菌の働きで有効物質が体に供給されているからよいのだそうです。

旧約聖書のダニエル書には、ダニエル、シャデラク、メシャク、アベデネゴという四人の少年たちが、王様の食べる美食を勧められた時に、断固、拒否して、ユダヤ人の律法にもとずき、野菜中心の食事だけを食べることにしたという記述があります。十日間、彼らを野菜だけのダイエットで生活させて調べてみたそうです。そうしますと、彼らの顔色は、王の食べるごちそうを食べているどの少年よりも良く、からだも肥えていたといいます。無理して肉をむさぼり食べることがなくても、健康で頭脳明晰、心も清らかだったようです。

みなさんは、一日三十品目をまんべんなく召し上がっておられますか？それとも好き嫌

いがありますか。今日は、聖書から次の三つのことを教えられたいと思います。

- I. 肉食に関して聖書が教える一般原則
- II. 争いが起こる原則
- III. 貧しくても愛があふれる家庭の原則

それでは、一つ一つ見て参りましょう。

I. 肉食に関して聖書が教える一般原則 です

A. 本来、創造主が人間に食物として与えてくださったのは野菜や果物のような植物でした

1. 大地には植物が生息するよう、主は御言葉を持って創造された

神は「天の下の水は一所に集まれ。かわいた所が現われよ。」と仰せられた。するとそのようになった。神は、かわいた所を地と名づけ、水の集まった所を海と名づけられた。神は見て、それをよしとされた。神が、「地は植物、種を生じる草、種類にしたがって、その中に種のある実を結ぶ果樹を地の上に芽生えさせよ。」と仰せられると、そのようになった。それで、地は植物、おのおのその種類にしたがって種を生じる草、おのおのその種類にしたがって、その中に種のある実を結ぶ木を生じた。神は見て、それをよしとされた。こうして夕があり、朝があった。第三日。 創世記 1:9-13

2. 種類に従って

a. 創世記一章の中に 10 回も「種類に従って」という表現がでてくる

b. 種の中に DNA と遺伝暗号があらかじめプログラムされた

3. 種を持つすべての草と種を持って実を結ぶすべての木が食物として与えられた

ついで神は仰せられた。「見よ。わたしは、全地の上であって、種を持つすべての草と、種を持って実を結ぶすべての木をあなたがたに与えた。それがあなたがたの食物となる。また、地のすべての獣、空のすべての鳥、地をはうすべてのもので、いのちの息のあるもののために、食物として、すべての緑の草を与える。」すると、そのようになった。 創世記 1:29-30

B. ノアの時代、大洪水の後、肉食が許可されたのです

1. 本来は、動物もまた「すべての青草」を食物として与えられたのであって、人間も動物も動物性の食物を食べるように、創造されたのではなかったのです

2. 主イエスキリストが地上再臨され、千年王国が到来すると、人間が罪を犯す前のエデンの園の時のように、人間も動物も創造の時に似た状態となり、平和な時代が回復するこ

とが旧約聖書に預言されています イザヤ 65:19-25 です

わたしはエルサレムを喜び、わたしの民を楽しむ。そこにはもう、泣き声も叫び声も聞かれない。そこにはもう、数日しか生きない乳飲み子も、寿命の満ちない老人もない。百歳で死ぬ者は若かったとされ、百歳にならないで死ぬ者は、のろわれた者とされる。彼らは家を建てて住み、ぶどう畑を作って、その実を食べる。彼らが建てて他人が住むことはなく、彼らが植えて他人が食べることはない。わたしの民の寿命は、木の寿命に等しく、わたしの選んだ者は、自分の手で作った物を存分に用いることができるからだ。彼らはむだに労することもなく、子を産んで、突然その子が死ぬこともない。彼らは主に祝福された者のすえであり、その子孫たちは彼らとともにいるからだ。彼らが呼ばないうちに、わたしは答え、彼らがまだ語っているうちに、わたしは聞く。狼と子羊は共に草をはみ、獅子は牛のように、わらを食べ、蛇は、ちりをその食べ物とし、わたしの聖なる山のどこにおいても、そこなわれることなく、滅ぼされることもない。」と主は仰せられる。 イザヤ 65:19-25

3. 人類の罪のために一度世界は大洪水によって滅ぼされ、ノアと妻、三人の子供たちと妻たち八名だけが助かり、環境の大激変が生じた

a. 大洪水の前には、雨が降ることはなかった

b. 大洪水による裁きの時、それまでオゾン層やバンアレン帯のように地球を取り囲んでいた大気圏よりも上にあつた水がすべて地上に降り注いだため、人体に有害な太陽からの光線や電磁波、宇宙線などが直接地上に届くようになり、人間の寿命が極端に短くなったのです 聖書の記述を見れば、大洪水前の人類はとても長生きです。ところが大洪水以降、人間の寿命が極端に短くなっています。

c. 大洪水が起こるまでは、大気は温室のようでした。 大洪水で温暖な気候が、激変し、寒冷地帯が生じるようになったのです

d. 愛知万博でも展示されているシベリヤのマンモスが瞬間冷凍のようなかたちで氷付けになったのはなぜでしょうか

一万八千年前のオスで推定年齢四十～四十五歳。体高二メートル八〇センチ余り。冷凍のまま一昨年秋、愛知万博会場に空輸されました。冷凍状態のマンモスは、筋肉や体毛などが当時の状態のまま残されていると報道されていました。

氷河期にマンモスが生息していたという仮説を日本人は進化論を信じる人たちによって教えられていますが、それは、嘘です。氷の平原で体長 2m も 3m もあるような巨大なゾウのような生き物が、雪と氷の嵐吹きすさぶ中、どのようなえさを食べて生きていたのでしょうか？

マンモスたちは、本当は、温かい温暖な環境の中で生きていたはずです。彼らはたくさん熱帯植物をえさとして食べて、丸まると太っていたと思われま

す。マンモスが体中、毛で覆われているから氷河期に住んでいた動物に違いないなどと進化論者は推測しますが、それも大間違いです。

マントヒヒ、マンドリル、オランウータンも毛むくじゃら、でも北極や南極に住んでるわけじゃありません。たてがみフサフサの雄ライオンもけっこう暑い地域に住んでるけど、床屋さんやパーマ屋さんには行こうとしないのです。それに対して、氷点下マイナス60℃の極寒の中、子育てをする皇帝ペンギンたちは毛むくじゃらではありません。体が毛で覆われているからといって、マンモスを氷河時代の生き物だと決めつけるのは間違っています。

ところでみなさん、鯛の乾物は、ミイラ状になっているからこそ、保存食になるのです。エジプトのミイラも水分を全部取り除いてカラカラに乾かしてあるからこそ、数千年も保存されているのです。食パンで実験してみるとよくわかります。カラカラに乾かした食パンと、水分を含ませた食パンと、どちらがカビだらけになって腐ると思いますか。

氷河期を代表するマンモスは37万～1万年前に生息していた生き物だと進化論者は言います。氷河期は、200万年前に始まり、これまで計4回にわたって襲ってきたと言いま

す。そして、最後の氷河期は1万年前に終わったのだそうです。よろしいでしょうか。いん石が地球に落ちてきて、恐竜が滅んだという説もありますが、だんだん温かくなっていった、その一万年前にマンモス君たちは氷付けになって絶滅していることになるのです。でも水の中で溺れ死んだマンモスがゆっくり凍ったとしたら、腐敗現象は直ちに起こるはず

です。進化論者が言うように、もし愛知万博に運び込まれてきたマンモスが、氷河期の終了した、一万年前よりもさらに八千年も前の、まだ寒い氷河期に生息していたのだ仮定しましょう。だったら、氷河期の極寒の世界でマンモス君たちがどのようにして水没でき、溺れ死ぬことになるのでしょうか。

よ～く考えてみてください。温かくなって氷河期が終わる最後の時より八千年も前だということですから、当然、まだまだ氷河期で寒いのでしょうか？ だったらみなさんもし水があったとしても、ガチガチの氷になってるはず

です。そう思われませんか。氷の固まりのような状態だったら、マンモスたちはその中にどうやって潜り込むことができたのでしょうか。ましてやどのようにして、氷の中でもがき苦しむ形態になって溺れ死ぬことができるので

の中に押し込んでしまうことは不可能です。そんなことなどできるはずがありません。

実は、本当は、温かいジャングルのような環境に住んでいたマンモスたちが、ある日突然、大水と土砂に押し流されて、短時間の内に凍り付けにされた、というのが真実なのです。もし溺れ死んだマンモスの肉が、水分が多いところに長い時間放置されてしまったのだとしたら、どうでしょう。バクテリアの繁殖でその肉はすぐに腐敗してしまうに違いありません。絶対に、シベリヤから愛知万博にまで、持ってこれるはずがないではありませんか。

e. アメリカナ百科事典による記述

1950年発行のエンサイクロペディア・アメリカナの vol. 18. p. 180 には大変興味深い情報が掲載されています。それは、シベリアの氷づけになっているマンモスなどの生物についての記述です。進化論では、徐々に氷河期となり、マンモスは食べる物がなくなったので絶滅したということになっています。今日も、シベリアには約5千万頭ものマンモスが凍りづけ、冷凍保存されていると言われています。

百科辞典アメリカナには以下のように記されています。

「シベリアでは、無数の動物がゴミの中に凍っているのが発見された。その中には、あまりに急激に凍ってしまったため、髪の毛や肉がそのまま保存されているものもある。そりを引く犬が、喜んで食べるほど新鮮な状態に保存されているものもある。」

サタデー・イブニング・ポスト誌は、「凍りついた巨大生物の謎」という記事で、こう記しています。「北極圏の氷原の大部分は、暑さ1áb から 300áb 以上のゴミの層で覆われている。この層は、様々な物質のあつまりであるが、そのすべては凍りついて堅い岩のようになっている。・・・大量の骨、動物の死骸全体を含んでいる場合もある。それらの死骸の多くは、まだ完全にみずみずしく、無傷である。」

発見されたマンモスの子供の口と胃の中にはキンポウゲなどの温暖な地域にしか生息しない青草が観察されています。これは、突然、冷凍保存される前には、このマンモスくん、お食事の真っ最中だったということの意味するのです。瞬間的に凍りづけになるような超異常現象、そしてそのような大量の水はどこから来たのでしょうか。???

4. 大洪水後の環境大激変に対応して、肉食が人間に許可されました

それで、神はノアと、その息子たちを祝福して、彼らに仰せられた。「生めよ。ふえよ。地に満ちよ。野の獣、空の鳥、・・・地の上を動くすべてのもの・・・それに海の魚、これらすべてはあなたがたを恐れておののこう。わたしはこれらをあなたがたにゆだねている。生きて動いているものはみな、あなたがたの食物である。緑の草と同じように、すべてのものをあなたがたに与えた。しかし、肉は、そのいのちである血のあるままで食べてはな

らない。 創世記 9:1-4

C. 恵みの時代、食べ物の中で絶対的戒律のように、断定的に語ることは控えるべきだと聖書は教えています 使徒 10:11-16 をお開きください P. 247 です

弥生式土器の時代という大昔ですが、ユダヤ人であるペテロに対し、主は豚肉解禁令を出された際の記述があります。

見ると、天が開けており、大きな敷布のような入れ物が、四隅をつるされて地上に降りて来た。その中には、地上のあらゆる種類の四つ足の動物や、はうもの、また、空の鳥などがいた。そして、彼に、「ペテロ。さあ、ほふって食べなさい。」という声が聞こえた。しかしペテロは言った。「主よ。それはできません。私はまだ一度も、きよくない物や汚れた物を食べたことはありません。」すると、再び声があつて、彼にこう言った。「神がきよめた物を、きよくないと言ってはならない。」こんなことが三回あつて後、その入れ物はすぐ天に引き上げられた。 使徒 10:11-16

ローマ 14:1-8 にも重要な原則が記されています。

あなたがたは信仰の弱い人を受け入れなさい。その意見をさばいてはいけません。何でも食べてよいと信じている人もいますが、弱い人は野菜よりほかには食べません。食べる人は食べない人を侮ってはいけなしいし、食べない人も食べる人をさばいてはいけません。神がその人を受け入れてくださったからです。あなたはいったいだれなので、他人のしもべをさばくのですか。しもべが立つのも倒れるのも、その主人の心次第です。このしもべは立つのです。なぜなら、主には、彼を立たせることができるからです。ある日を、他の日に比べて、大事だと考える人もいますが、どの日も同じだと考える人もいます。それぞれ自分の心の中で確信を持ちなさい。日を守る人は、主のために守っています。食べる人は、主のために食べています。なぜなら、神に感謝しているからです。食べない人も、主のために食べないのであって、神に感謝しているのです。私たちの中でだれひとりとして、自分のために生きている者はなく、また自分のために死ぬ者もありません。もし生きるなら、主のために生き、もし死ぬなら、主のために死ぬのです。ですから、生きるにしても、死ぬにしても、私たちは主のものです。 ローマ 14:1-8

次に今日の箴言の御言葉は、私たちがお肉を食べようが、菜食主義者であろうが、私たちの人間関係に争いがもたらされる場合その原因に次のようなことがらがあることを教えています。

## II. 争いが起こる原則

激しやすい者は争いを引き起こし、怒りをおそくする者はいさかいを静める。

A. わがままに育ち、自制心のない人、感情をストレートに表現する人、は争いを引き起こすというのです。

B. 愚か者は母を侮る

C. 箴言が教える解決策

1. 怒りをおそくする

2. 知恵のある子は父を喜ばせる

3. 良い返事をする人には喜びがある

4. 時宜にかなったことばは、いかにも美しい

### III. 貧しくても愛があふれる家庭の原則

裕福で争いが絶えない家よりは、貧しくても愛があふれている家のほうがいい

A. 裕福であっても、心に豊かさのない家庭は多い

1. 裕福で欲しい物がすぐ手に入る環境は、人を短気で怒りっぽい人間にする

2. 裕福で欲しい物がすぐ手に入る環境は、人を我慢できない人間にする

3. 裕福で物質的に欲しい物がすぐ手に入る環境は人間をわがままにする

B. 貧しくても愛にあふれた家庭はある

もちろん貧しいご家庭で争いの絶えない家庭というのものもあるかとは思いますが、そのような家庭ばかりではないと聖書は言います。

1. 貧しいからこそ互いにいたわりあう家庭があるのです

2. 貧しいからこそ、示された人の親切や、愛に感動する場合があります

ガッツ石松の体験談

「仏の顔も三度まで」という言葉がありますが、ある日、弟子のペテロがイエスさまに、「兄弟が私に対して罪を犯したばあい、何度まで赦すべきでしょうか」と質問しました。ペテロは、「七度まででしょうか？」と尋ねました。イエスさまのお答えは「七度まで、などとはわたしは言いません。七度を七十倍するまでと言います。」というものでした。(マタイ 18:21-22)

ガッツ石松こと、本名鈴木有二さんは、WBC 世界ライト級チャンピオンとなり5度タイトルを防衛したボクサーです。ガッツポーズの元祖だという有名人です。このガッツ石松さんも少年の頃は、問題をよく起こしたそうです。貧しい家庭に育ち、非行に走り、家庭裁判所に呼び出されたことがあるそうです。父親といっしょに出廷した帰りのこと、生まれて初めてラーメンを食べたそうです。お父さんが、「ラーメンでも食おうか」と言ってくれ、食堂に入ったそうです。でも貧乏で一杯しか注文できなかった。お父さんがポケッ

トからありったけのコインを食堂のテーブルの上に並べて、やっと一杯分の代金があるだけだったそうです。待つこと数分、湯気の立つおいしそうなラーメンが出てきました。「とうちゃんは、腹一杯だから、お前食え」お父さんはそう言ったそうです。それでガッツさんは、生まれて初めて食べるラーメンです。ガツガツと口にかきこみました。お父さんは本当はおなかがすいていたはずなのに、我慢していたのでした。でもガッツさんはお父さんのことを思うまもなく、ラーメンの汁までごくごく飲んだそうです。ガッツさんが食べ終わった時、お父さんが、どんぶりにかすかに残っているスープを欲しそうに眺めて、「いいか？」と言ってどんぶりを口に持っていき垂直に傾けて残ったラーメンスープをなめていたそうです。それを見たガッツさんは、「父ちゃん腹減ってたんか」とようやく気づいたそうです。

「家庭裁判所に呼び出されたことで、父ちゃんは、一言もイヤミなことや小言を言わずに、本当は腹減ってたのに、俺にラーメンとって食わせてくれた。この父ちゃんに迷惑かけちゃいけない。とそのとき、本当に思った。」そうガッツ石松こと鈴木有二少年は心に誓ったそうです。この時を契機に鈴木有二少年は、ガッツ石松への道へと歩み始めるのでした。

ボクシングで初めてもらったお金、三千円。そのうち、千円は躊躇することなく、栃木県にいる父と母に送金したと言います。後の千円は貯金をし、残りの千円でバナナを買えるだけかってほおぼり食ったそうです。

そして、世界チャンピオンになった時も、獲得した賞金を奥さんに見せた後、この賞金は全部俺にくれ、と言ったそうです。そしてその賞金全部をまるまるご両親の所に届け、雨漏りの絶えないボロボロのあばら屋を新築の家建て替えな、と建築資金としてプレゼントなさったそうです。この親孝行の原点が、裁判所から出た直後食堂に入って食べた一杯のラーメンにあったのです。非行に走った息子を赦し、一言も責めず、恵みと愛を注いだお父さんの優しさにあったのです。そうです。貧しかったからこそです。貧しかったからこそ、父の息子を思う温かい愛情が、すさんだ鈴木有二少年の心にしみたのではないのでしょうか。たかがたったラーメン一杯のことでした。でも、父がポケットをゴソゴソいわせ、一枚一枚取り出して食堂のテーブルの上に並べた、一円玉や五円玉、十円玉が、有二少年の脇の裏に、父親の愛のデモンストレーションとして焼き付いたのでした。

私たちは、人の過ちや、間違いを指摘したり、叱ったりする時、きつい、荒々しい、攻撃的な言葉を使いやすいものです。皆様のご家庭でも、夫婦間で、嫁姑の間で、あるいは子供の失敗や間違いを親が指摘する際に、攻撃的な、裁きや断罪の言葉が用いられることはないのでしょうか。間違いをそのような見下された言い方で指摘された場合、指摘された



ほうの側は、自分の過ちを素直に認めるのがとても困難になるものです。

鈴木有二少年のお父さんはクリスチャンではないかもしれませんが、子供がしでかし、公に裁判所で追求された大きな間違いを父親があえてえぐり、攻撃を加え、恥をかかせるような叱責のしかたはしませんでした。

許したのです。一言も非難がましい言葉をいわず、問題児であるがままの、まだ反省の言葉を口にしてもいない有二君を愛したのです。その無条件の愛にふれて、有二君の心に変化がもたらされたのでした。

主イエス・キリストは、十字架の上で苦しみを受けられました。何も悪いことをしていないのにです。自分を十字架に釘付けにしたローマ兵たちをご覧になり、こう祈られました。

「父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。 ルカ 23:34」

彼らの罪を責め立て、断罪と罰を求めるのではなく、赦しの言葉を語り、祈られたのです。それは、イエス・キリストによって、無条件の愛と創造主の七度を七十倍する完全な赦しが全世界のすべての人に対してあらわされるためでした。

このイエス・キリストの愛と赦しを信じ受けれる時あなたも、あなたのご家庭も変えられるのです。

#### 聖書の言葉

神が御子(キリスト)を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。 ヨハネ 3:17

### 3. 家庭内の愛に満ちた円満な団らんの秘訣

他の人の過ちを指摘する際の大切な霊的原則が新約聖書に記されています。

それは、「柔和な心」と「りっぱでもない自分をりっぱでもあるかのように思わないこと」そして「人の過ちを指摘する前に自分の行いをまず吟味すること」の三つです。

新約聖書 P. 371 ガラテヤ書 6 章 1～5 節に記されています。 P. 371

兄弟たちよ。もしだれかがあやまちに陥ったなら、御霊の人であるあなたがたは、柔和な心でその人を正してあげなさい。また、自分自身も誘惑に陥らないように気をつけなさい。互いの重荷を負い合い、そのようにしてキリストの律法を全うしなさい。だれでも、りっぱでもない自分を何かりっぱでもあるかのように思うなら、自分を欺いているのです。おのおの自分の行ないをよく調べてみなさい。そうすれば、誇れると思ったことも、ただ自

分だけの誇りで、ほかの人に対して誇れることではないでしょう。人にはおのおの、負うべき自分自身の重荷があるのです。 ガラテヤ 6:1-5

私たちの食卓に牛肉がのぼろうと、野菜だけであろうと、家庭内の愛に満ちた円満な団らんの秘訣、粗食でも愛のある家庭の秘訣は、この「柔和な心」、「りっぱでもない自分をりっぱでもあるかのように思わないこと」、「人の過ちを指摘する前に自分の行いをまず吟味すること」の三つです。

アクション・ポイント(生活への適用)

1. お肉を食べるかどうかがよりも今日の聖句は、家庭内の経済的豊かさと愛情の豊かさは直接的には比例しないことについて教えていると思います。あなたが生まれ育った家庭はどうでしたか。今年一年をふり返ってみて、あなたのご家庭はいかがでしたか。
2. 「裕福で争いが絶えない家よりは、貧しくても愛があふれている家のほうがいい」と今日の聖句は教えています。貧しくても愛情たっぷりの家庭の例を見たこと、聞いたことはありますか。粗食でも愛のある家庭とする秘訣は、どのようなところにあると思いますか。他の人と語り合ってみましょう。
3. お肉を食べてもよいかどうか、菜食主義こそ霊的なクリスチャンの食生活であるべきだとかかわるかどうかなど、食生活に関して様々な議論があります。聖書はどう教えていると思いますか。あなたはご自分の確信としてどのような立場に立ちますか。